

UHFワイヤレスレシーバー内蔵パワードスピーカーシステム

APS-30U

UHFワイヤレスレシーバー内蔵パワードスピーカー

52HT/52BT

UHFハンドヘルド/ベルトパックトランスミッター

取扱説明書

このたびはアツデンの製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、保証書と一緒に大切に保管下さい。



安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



この様な絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



この様な絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この様な絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意



指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。



電池を機器内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器にある表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

警告

 ■万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

 ■万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 ■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源を切り、電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜くこと

■電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

 ■この機器を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）

■電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。

 ■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

■この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないで下さい。火災の原因となります。

■この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

 ■この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺等屋外での使用は特にご注意ください。

■風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意

■調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

 ■湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■この機器の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

 ■電源プラグ（またはACアダプター）を抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ（またはACアダプター本体）を持って抜いてください。

■濡れた手で電源プラグ（またはACアダプター）を抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 ■お手入れの際は、安全のため電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いて行ってください。

■旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグ（またはACアダプター）をコンセントから抜いてください。



電源プラグをコンセントから抜くこと

 ■指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

 ■電池を機器内に挿入する場合は、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、機器にある表示通りに入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

 ■長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ACアダプターを使用する機器のみ

 ■この機器には、専用のACアダプターをご使用ください。それ以外のものを使用すると火災の原因となることがあります。

■ACアダプターは、布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

鉛蓄電池の取扱上のご注意

⚠ 注意

1)ご使用にあたっての注意事項:

- ① 蓄電池はエネルギーを持っています。蓄電池を正しく、安全にご使用頂く為に、使用前に必ず取扱説明書または注意書きをよくお読み下さい。読まずに誤使用されますと、蓄電池を漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- ② 蓄電池の使用温度範囲は、次のとおりです。この使用範囲以外では、蓄電池の性能や寿命を低下させたり発熱、漏液の原因となります。機器使用時: -20℃~+60℃
- ③ 蓄電池を、直射日光の強いところや、炎天下の車内、火の傍、ストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないで下さい。また蓄電池を寒い戸外(0℃以下)や、冷えたまま(0℃以下)で充電しないで下さい。蓄電池を漏液させたり、性能や寿命を低下させる原因となります。
- ④ この蓄電池は、指定以外の機器との接続は危険です。使用機器の取扱説明書や注意書きをよくお読み下さい。

⚠ 警告

2)ご使用にあたっての警告事項:

- ① 蓄電池を水や海水などにつけたり濡らさないで下さい。蓄電池を発熱させたり錆の原因となります。
- ② 蓄電池は、内部に希硫酸を保持しています。この蓄電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には皮膚に障害を起こす場合がありますので、直ちにきれいな水で洗い流して下さい。

⚠ 危険

3)ご使用にあたっての禁止事項:

- ① 蓄電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがあるので、こすらずにすぐにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- ② 蓄電池は次のような取扱をすると、発熱、漏液、破裂の原因となりますので、必ずお守り下さい。

- a 火の中に投入したり、加熱しないこと。
- b 直接ハンダづけしないこと。
- c (+)端子と(-)端子とを針金等の金属で接続しないこと。また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないこと。
- d (+)端子と(-)端子とを逆にして充電したり、使用しないこと。
- e 分解したり・改造しないこと。
- f 強い衝撃を与えたり、投げつけないこと。
- g 充電は専用充電器を使用し、当社指定の充電条件を守ること。
- h 電源コンセントや自動車のシガレットライターのさし込み口等に直接接続しないこと。
- i 指定の機器以外に接続しないこと。



鉛蓄電池のリサイクルにご協力を

ご使用済みの蓄電池は貴重な資源です。再利用いたしますので廃棄しないで、リサイクル協力店にご持参ください。なお、(+)端子または、(-)端子に粘着テープ等を貼りつけて絶縁してからご持参ください。使用済み蓄電池でも電気エネルギーが残っている場合がありますので、端子の絶縁をしておきませんと破裂や発熱の原因となることがあります。リサイクルについて購入販売店及び販売元までお問い合わせください。

UHF B型ワイヤレスレシーバー内蔵パワードスピーカー

堅牢性の高いエンクロージャーに出力30Wのパワードスピーカー、大容量バッテリー、各種コントロール、マイク、ラインの入力等をコンパクトに内蔵。ワイヤレスマイクは屋内外で幅広く使用できる800MHz B型を2台搭載。2本のワイヤレスマイクを同時に使用できます。

主な特長

- ・UHF・B型16チャンネルレシーバーを2台搭載
- ・屋内、屋外場所を選ばず簡単設置
- ・出力30Wのパワーアンプ内蔵
- ・バッテリー駆動であらゆるニーズに対応
- ・LINE/MIC入力、独立ボリュームコントロール
- ・AUX OUT/EXT. SP端子装備
- ・高音、低音域調整用のトーンコントロール装備
- ・2本のワイヤレスマイクのレベルコントロール装備
- ・高効率、防磁型の16.5cmスピーカー搭載
- ・アンテナ内蔵型

ご使用上の注意

- ・本機は国内専用機です。海外での使用はできません。
- ・電池のセットや交換は必ず“電池の交換の仕方”にしたがって行ってください。
- ・マイクの改造、変更等は電波法により禁じられております。改造した機器を使用いたしますと罰せられることがあります。
- ・次のような所でのご使用や保存は故障の原因となりますのでご注意ください。
 - * 湿度の高い場所(風呂場、濡れた床など)
 - * 温度の異常に高い場所(暖房器具の近く、直射日光のあたる所)
 - * 振動の強い所
 - * 埃の多い所
- ・テレビやラジオの近くで本機を使用すると、テレビの画面に色ムラが出たりラジオから雑音ができることがありますのでその時は本機を遠ざけてください。
- ・本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合、ハム(うなり)を誘導することがあります。
- ・マイクに貼付された証明シールは、剥がさないでください。シールが付いていませんと技術基準適合証明の効力が消滅します。

システム構成例

UHFハンドヘルドトランスミッター2セット システム例



APS-30 U



52HT

52HT



APS-30 U



52BT



52BT

UHFベルトパケットランスミッター2セット システム例

設置例

APS 30Uスピーカーの設置

スタンドへの設置

- ・ APS30には、φ16mm x 52mmの取り付け穴が、底に1つあります。スタンド等に取り付けてください。その際は、スタンドが本体重量に耐えられるかをご確認ください。

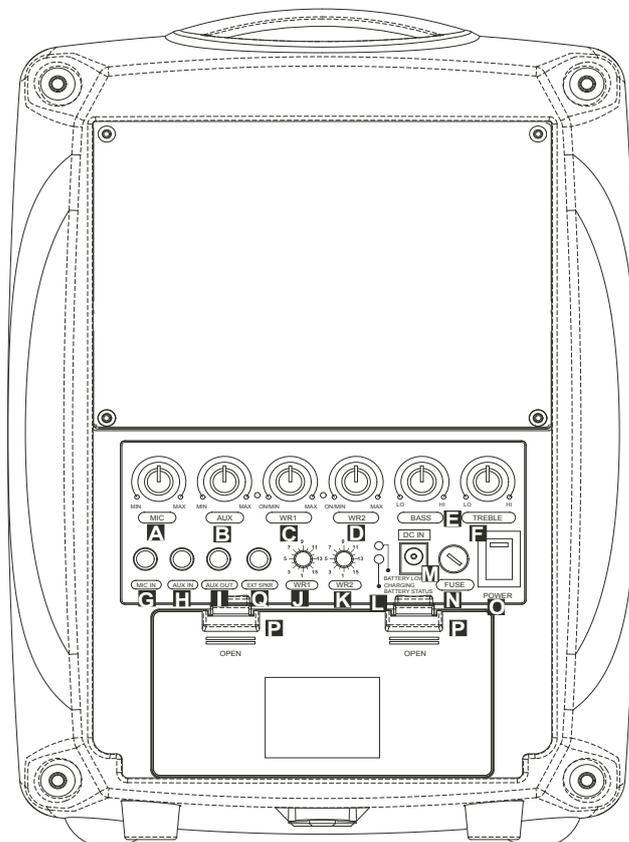
直置き

- ・ 4つの粘着性滑り止めパッドを、本体底に貼り付けてください。

各部の名称とはたらき

●バッテリーパワードスピーカー

- A MIC LEVEL: MIC IN (G)のマイク音量の調整を行います。MIC INを使用していないときは、常に最小(時計逆向き)に設定しておくことをお勧めいたします。
- B AUX LEVEL: 下記AUX IN(H)の音量の調節を行います。
- C WR 1: UHFワイヤレスマイク(1)のマイク音量の調整を行います。ワイヤレスマイク(1)を使用していないときは常に最小(時計逆向き)に設定しておくことをお勧めいたします。
- D WR 2: UHFワイヤレスマイク(2)のマイク音量の調整を行います。ワイヤレスマイク(2)を使用していないときは常に最小(時計逆向き)に設定しておくことをお勧めいたします。
- E BASS: 音質を調整したい場合に低音域をブーストします。時計回りに回せば低音域をブーストに、逆に回せば低音域がカットされます。
- F TREBLE: 音質を調整したい場合に高音域をブーストします。時計回りに回せば高音域をブーストに、逆に回せば高音域がカットされます。
- G MIC IN: 有線マイクのインプットです。φ6.3標準ジャックは、低インピーダンスマイクに対応するように設計されております。音量の調整はMICのノブ(A)で調節できます。
- H AUX IN: φ6.3標準ジャックでCDプレーヤー、オーディオレコーダーなどと接続できます。音量の調整はAUXのノブ(B)で調節できます。
- I AUX OUT: ラインレベルインプットのある、その他のオーディオ、スピーカーに接続できます。
- J WR 1: 内蔵ワイヤレスレシーバー 1 のチャンネル番号を選択します。
- K WR 2: 内蔵ワイヤレスレシーバー 2 のチャンネル番号を選択します。
- L CHARGE LED: バッテリーが充電中に点灯します。
- M DC JACK: 付属のACアダプターで、スピーカー内蔵のバッテリーに充電できます。スピーカーは充電中も使用可能です。
- N FUSE
- O POWER SWICHTH: 電源スイッチです。
- P Battery Compartment cover release button: バッテリー(蓄電池)が内蔵されています。
- Q EXT SPKR: φ6.3標準ジャックで外部スピーカーと接続できます。



- ▲ MIC
- ▣ AUX
- ⊙ WR1
- ▣ WR2
- ▣ BASS
- ▣ TREBLE
- ⊙ MIC IN
- ▣ AUX IN
- ▣ AUX OUT
- ▣ WR1 channel selector (16-ch version only)
- ▣ WR2 channel selector (16-ch version only)
- ▣ CHARGING INDICATOR
- ▣ DC IN
- ▣ FUSE
- ⊙ POWER
- ▣ Battery Compartment cover release button
- ⊙ EXT SPKR

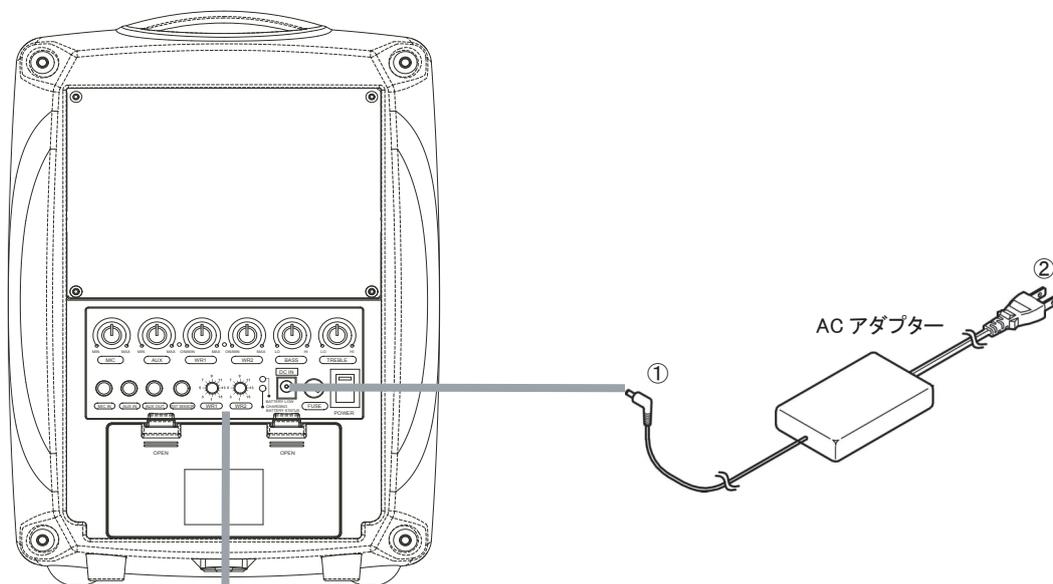
充電のしかた(APS-30U)

- ①ACアダプターのDCコードのプラグをスピーカー(APS-30U)に接続します。
- ②ACアダプターのACコードのプラグをコンセントに差し込みます。
- ③充電中は、Charge(チャージ)の表示LEDが点灯します。
- ④ACアダプターを差し込んでから約10時間後、Full(フル)の表示LEDが点灯し充電終了を表示します。
- ⑤スピーカー(APS-30U)使用時、蓄電池の充電残量が少なくなるとLowの表示LEDが点灯し充電時期を表示します。

- 工場出荷時や、完全放電時の充電時間は、10時間以上になります。
- 蓄電池の寿命は正常な使用で、充電回数約500回です。十分に充電されましても通常より早くLowの表示LEDが緑色に点灯する時は電池の寿命と考えられますので、新しい蓄電池と交換してください。蓄電池の交換はお買い上げいただいた販売店、または弊社営業部までお問い合わせください。

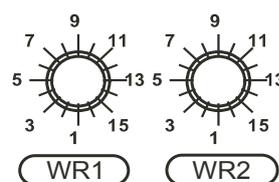
使用上の注意

- ・付属の専用ACアダプターで充電してください。専用ACアダプター以外で充電しますと故障の原因となります。
- ・付属の専用ACアダプター充電できる蓄電池は、内蔵されている専用蓄電池のみです。他の蓄電池は充電できません。



●チャンネル設定の仕方

- (1) WR 1: 内蔵ワイヤレスレーザー 1 のチャンネル番号を選択します。(1~16 から設定します)
- (2) WR 2: 内蔵ワイヤレスレーザー 2 のチャンネル番号を選択します。(1~16 から設定します)



受信チャンネルを切り替える時に使います。下記の表に合わせてワイヤレスマイク/トランスミッターとのチャンネル番号を選びます。

*チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフに行ってください。オンのままチャンネルを切り替えても、前の送信周波数を保持しています。必ず電源スイッチをオフにしてチャンネルを切り替えてください。

チャンネル設定(2台のチャンネルは同一グループの表の中の異なるチャンネルを設定してください。)

グループ①

レーザー	1	2	3	4	5	6
マイク(イ・ロ)	11	12	13	14	15	16

グループ②

レーザー	7	8	9	10	11	12
マイク(イ・ロ)	31	32	33	34	35	36

グループ③

レーザー	13	14	15	16
マイク(イ・ロ)	43	44	45	46

1. UHFハンドヘルド/ベルトパックトランスミッター主な特長

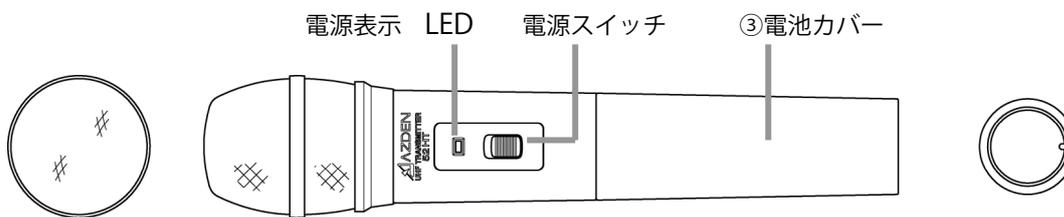
- ・混信に強い30チャンネル切替方式です。
- ・他の電子機器の電波ノイズに影響されにくい800MHz周波数を使用しています。
- ・ノイズリダクションを搭載していますので、広いダイナミックレンジが得られます。
- ・800MHz帯特電力無線局機器の適合証明を受けたワイヤレスマイクロホンです。

2. ご使用上の注意

- ・本機は国内専用機です。海外での使用はできません。
- ・電池のセットや交換は必ず“電池交換の仕方”にしたがって行ってください。
- ・マイクの改造、変更等は電波法により禁じら**お**ります。改造した機器を使用いた**ば**罰せられることがあります。
- ・次のような所でのご**使**や保存は故障の原因となりますので注意ください。
 - *湿度 の高い場所（風呂場、濡れた床など）
 - *温度 の異常に高い場所（暖房器具の近く、直射日光のあたる所）
 - *振動 の強い所
 - *埃の 多い所
- ・テレビやラジオの近くで本機を使用すると、**ビ**の画面に色ムラが出たりラジオから雑音ができることがありますのでその時は本機を遠ざけてください。
- ・本機の近くに大型トランスを持**器**がある場合、ハム(うなり)を誘導することがあります
- ・マイクに貼付された証明シールは、剥がさないでください。シールが付いていませんと技術基準適合証明の効力が消滅します。

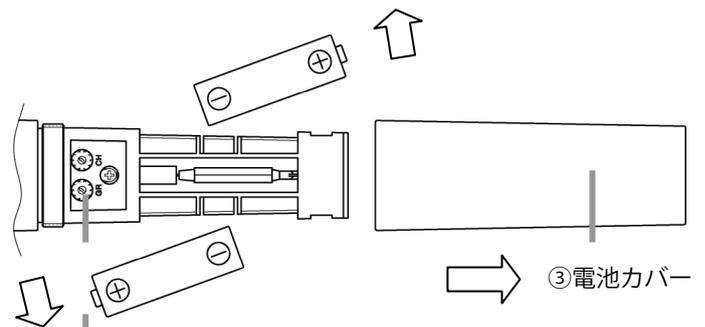
各部の名称

●ハンドヘルドトランスミッター 52HT



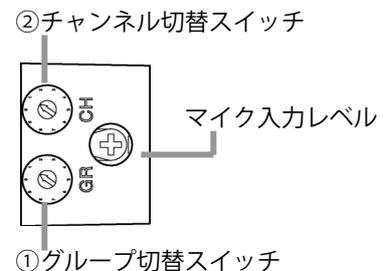
電池交換の仕方

- ・電池カバーを左に廻してください**池**電納部が
できます。電池を取り出すときは電池の+側から
引き出してください。
- ・電池の交換のときは電源スイッチを必ずOFFに
してください。



チャンネル設定の仕方

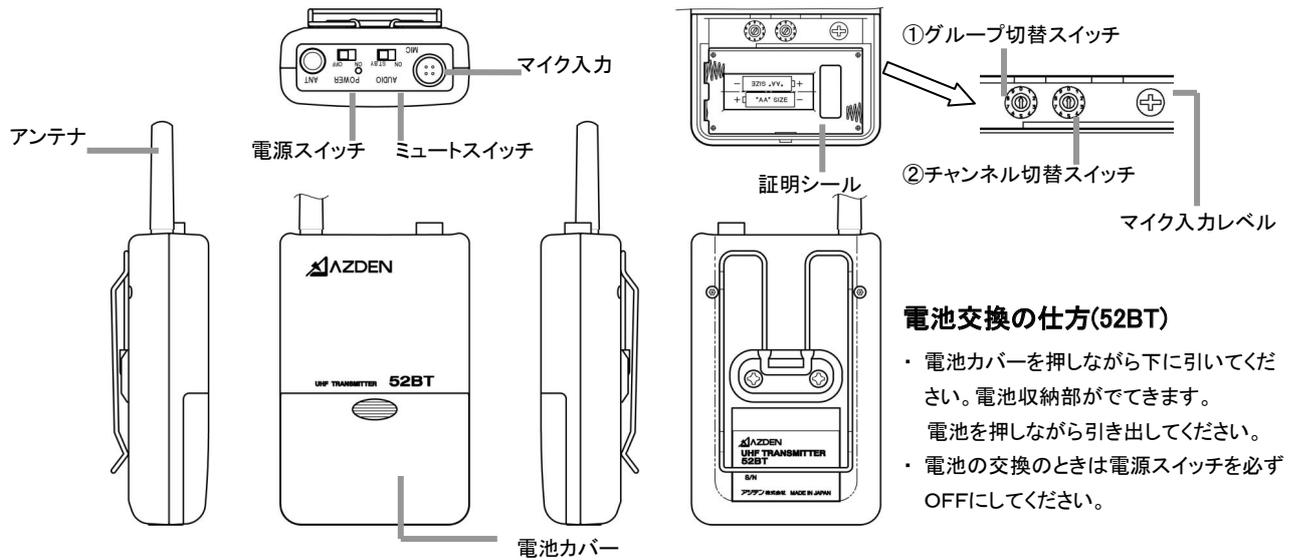
- ①グループ切替スイッチ
- ②チャンネル切替スイッチ
送信チャンネルを切り替える時に使います。
グループ切替スイッチでグループ番号を、
チャンネル切替スイッチでチャンネル番号を選びます。
- ③電池カバー
反対方 向に廻しますとチャンネル表示スイッチがみえます。



*チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフにして行ってください。オンのままチャンネルを切り替えても、前の送信周波数を保持しています。必ず電源スイッチをオフにしてチャンネルを切り替えてください。

各部の名称とはたらき

●ベルトパックトランスミッター 52BT



●チャンネル設定の仕方

①グループ切替スイッチ(1~6 から設定します)

②チャンネル切替スイッチ(1~6 から設定します)

送信チャンネルを切り替える時に使います。グループ切替スイッチでグループ番号を、チャンネル切替スイッチでチャンネル番号を選びます。

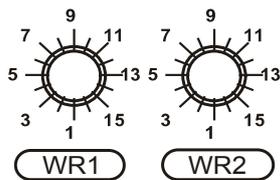
* チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフに行ってください。オンのままチャンネルを切り替えても、前の送信周波数を保持しています。必ず電源スイッチをオフにしてチャンネルを切り替えてください。

操作のしかた(内蔵レシーバー・ワイヤレスマイク/トランスミッター使用時)

- ①内蔵レシーバー・ワイヤレスマイク/トランスミッターのチャンネルを確認します。(2台使用時は下記表の設定を参照)
- ②スピーカー(APS-30I)の電源を入れます。電源表示 LED が点灯します。
- ③ワイヤレスマイク/トランスミッターの電源スイッチをONにします。マイク/トランスミッターの電源表示LEDが点灯します。
- ④ワイヤレスマイク/トランスミッターに音声を入れ、レシーバーの音量つまみにて音量を調節します。(通常はセンター位置)
- ⑤ご使用後は、電源スイッチを元の位置に戻して下さい。電源がOFFになり、電池の消耗を防ぎます。

⚠ご使用上の注意

●チャンネルについて(APS-30U 内蔵ワイヤレスレシーバー)



(裏面チャンネル切替つまみ)

- (1)WR 1: 内蔵ワイヤレスレシーバー 1 のチャンネル番号を選択します。(1~16 から設定します)
- (2)WR 2: 内蔵ワイヤレスレシーバー 2 のチャンネル番号を選択します。(1~16 から設定します)

受信チャンネルを切り替える時に使います。下記の表に合わせてワイヤレスマイク/トランスミッターとのチャンネル番号を選びます。

*チャンネルを設定する時は、必ず電源スイッチをオフに行ってください。オンのままチャンネルを切り替えても、前の送信周波数を保持しています。必ず電源スイッチをオフにしてチャンネルを切り替えてください。

チャンネル設定(2台のチャンネルは同一グループの表の中で設定してください。)

グループ①

レシーバー	1	2	3	4	5	6
マイク(イ・ロ)	11	12	13	14	15	16

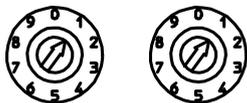
グループ②

レシーバー	7	8	9	10	11	12
マイク(イ・ロ)	31	32	33	34	35	36

グループ③

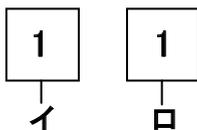
レシーバー	13	14	15	16
マイク(イ・ロ)	43	44	45	46

●チャンネルについて(52HT/52BTワイヤレスマイク/トランスミッター)



(52HT/52BTチャンネル切替スイッチ)

11チャンネルをあらわします



・使用周波数は、グループ番号及びチャンネル番号であらわした2個の記号で表します。(上面のチャンネル表を参照してください)

イ … グループ番号の表示 1 ~ 6
ロ … チャンネル番号の表示 1 ~ 6

・これらのチャンネルは混信を避けるため、3つのグループに分かれています。同一場所での使用の時は各セットを同じグループ番号にしてください。グループ番号が異なると混信や妨害が発生する恐れがあります。

APS-30U

定格出力	30W/4Ω
スピーカー	16.5cm 防磁型
周波数特性	50-15,000Hz
受信周波数	806.125MHz~809.750MHz B型16チャンネル
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
トーンコントロール	BASS, TREBLE
マイク入力	φ6.3標準ジャック
ライン入力	φ6.3標準ジャック
ライン出力	φ6.3標準ジャック
EXT. SP出力	φ6.3標準ジャック
電源	AC 100~240V/12Vバッテリー
外形寸法	313(H)×220(W)×215(D)(突起物含まず)
質量	約4.85kg
付属品	ACアダプター

52BT

送信周波数	806.125~809.750MHz B型30チャンネル
電波形式	F3E
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
空中線電力	10mW
Tone Frequency	32.768kHz
Noise Reduction	Compander
マイク入力	-60dBu/2.2kΩ(ヒロセ4ピン)
マイク	無指向性エレクトレットコンデンサー
表示機能	LED/電源ON、電池残量警告
電源	DC 3V(単3形乾電池×2)
消費電流	100mA以下
電池寿命	約10時間(単3形アルカリ乾電池使用時)
外形寸法(アンテナ含まず)	63(W)×98(H)×27(D)
質量(乾電池含む)	約160g

52HT

送信周波数	806.125~809.750MHz B型30チャンネル
電波形式	F3E
発振方式	水晶制御PLLシンセサイザー方式
空中線電力	10mW
Tone Frequency	32.768kHz
Noise Reduction	Compander
マイク	単一指向性ダイナミック型
表示機能	LED/電源ON、電池残量警告
電源	DC 3V(単3形乾電池×2)
消費電流	100mA以下
電池寿命	約10時間(単3形アルカリ乾電池使用時)
外形寸法(アンテナ含まず)	48(D)×234.5(L)
質量(乾電池含む)	約245g

保 証 書

本書は裏面の保証規定により、無料修理を行なう事をお約束するものです。

お 客 様	ご住所	〒	機種名	APS-30U/52BT/52HT		
	お名前		取扱販売店	住所		
保証期間	一カ年		お買上日	年	月	日

保証規定

- 保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理致します。
- つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ① 水害、落雷、異常電圧その他天災地変による故障
 - ② ファイナルおよびマイコン関係による故障
 - ③ お買い上げ後の輸送、落下等による事故および損傷
 - ④ 本保証書のご提示がない場合
 - ⑤ 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 不当な修理および改造をした場合は、修理をお引き受けできません。
- 修理品の送料に関しては、本保証に含まれておりませんので予めご了承ください。

アツデン 株式会社

本社 〒181-8533 東京都三鷹市上連雀1丁目12番17号

営業部 TEL 0422-55-5115 FAX 0422-55-0131

<http://www.azden.co.jp> e-mail:sales@azden.co.jp

PRINTED IN JAPAN 060-35412-01A